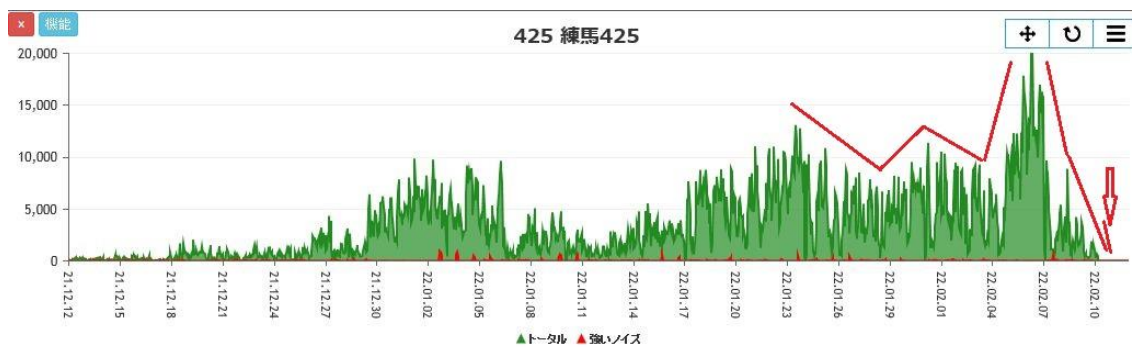


昨日 2 月 9 日配信の逆ラジオ通信で、関東地方の中規模地震と中部、東海地方の大地震の前兆について載せました。今日の段階で 関東のデータには 世田谷、練馬、日光、前橋などに収束傾向が見られます。これが関東の単独の地震の予兆であれば、関東直下の中規模地震の発生が考えられ、現在関東を覆っている雪雲が去ったあと、明日以降に発震の可能性がります。

しかし懸案の浜北 017 の巨大なデータが同じタイミングで収束してきており、さらにこちらも懸案で大きい和歌山-A のデータもやはりタイミングで収束してきています。通常、世田谷、練馬、日光、前橋などの収束傾向を、①関東直下の中規模地震の前兆、と捉えるのが自然だろうと思います。しかしあるいは②中部、東海地方の大地震の前兆が関東にも出ている、という可能性もあります。さらに①関東直下の中規模地震と③中部、東海地方と和歌山-A の関西地方の間、紀伊半島やその沖合の大地震が共に同じタイミングで発生する、という可能性も考えられます。いずれにせよ、関東～中部東海～紀伊半島あたりの広い地域での大きな地震に注意が必要です。

詳細は PDF を参照ください。

練馬 60 日間データ



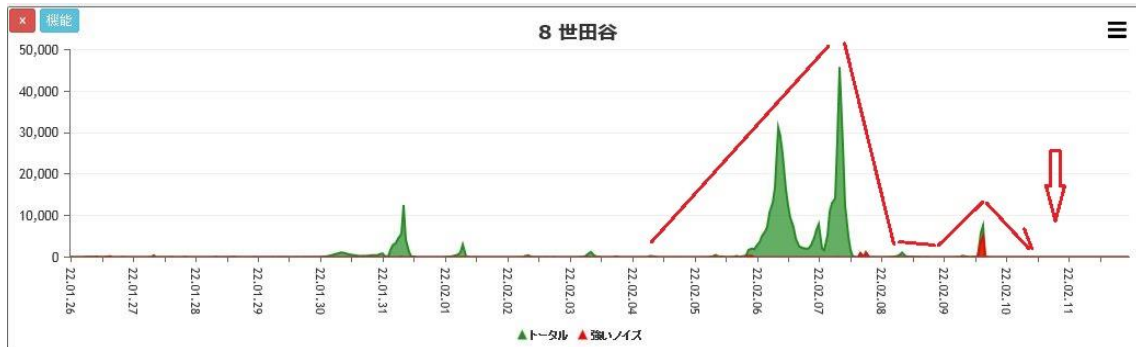
練馬 15 日間データ



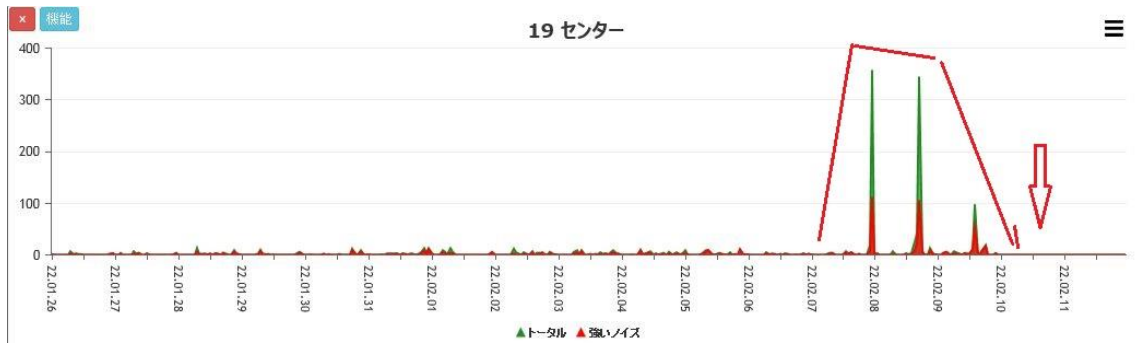
世田谷 60日間データ



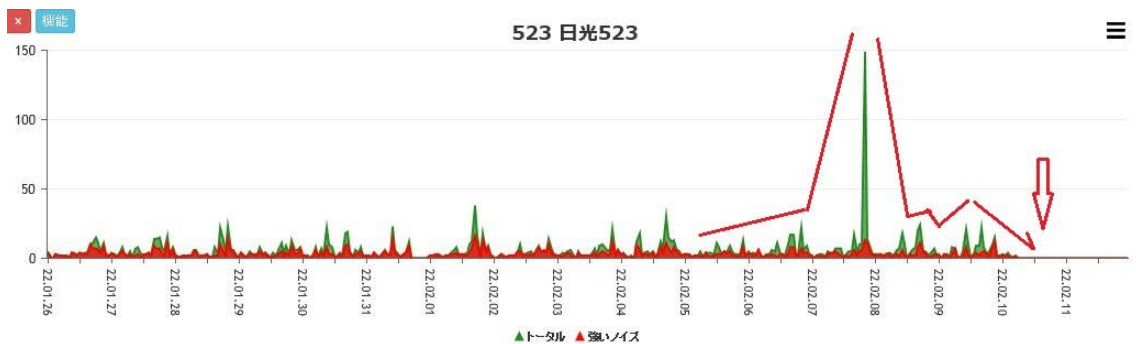
世田谷 15日間データ



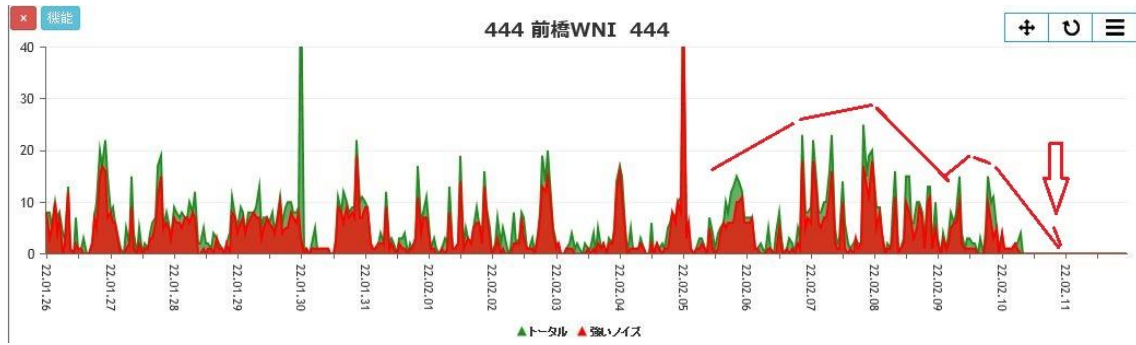
センター（世田谷）15日間データ



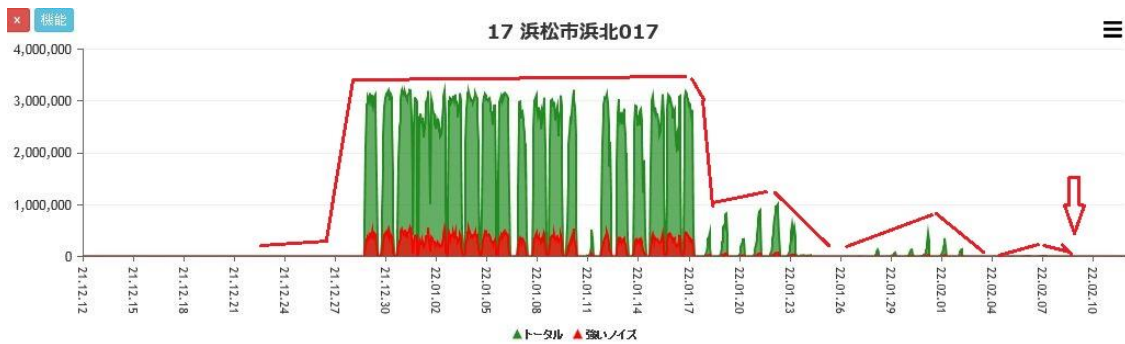
日光 15日間データ



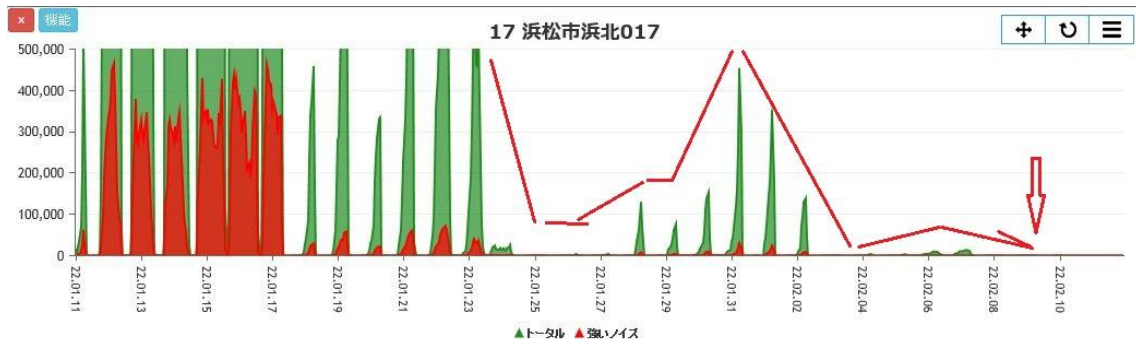
前橋 15日間データ



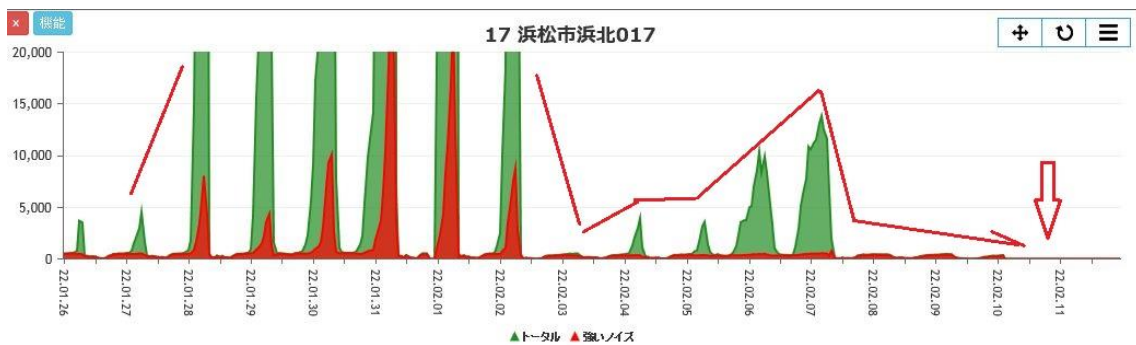
浜北 017 60日間データ



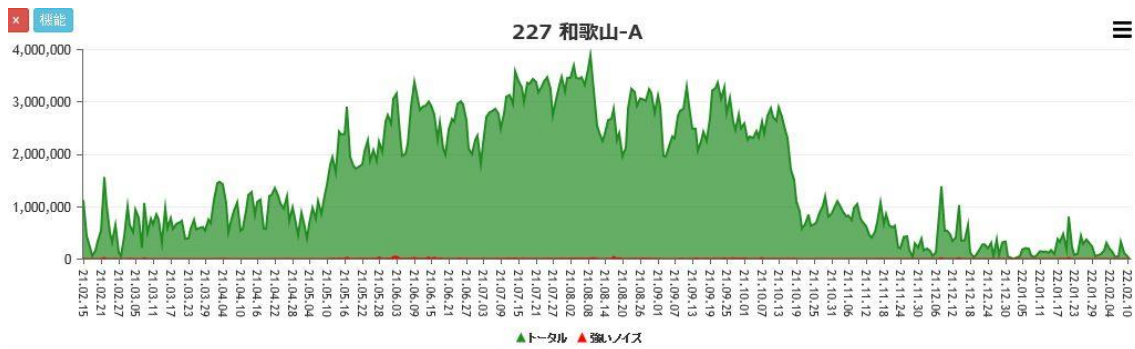
浜北 017 30日間データ



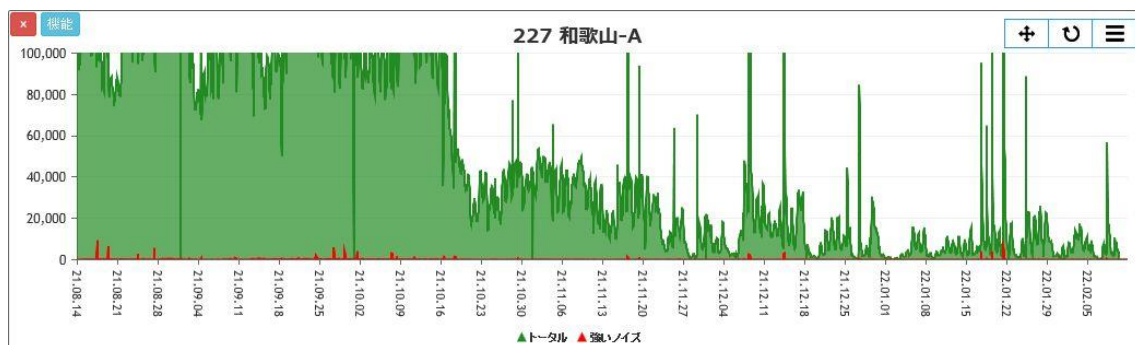
浜北 017 15日間データ



和歌山一A 365日間（日毎）データ



和歌山一A 180日間データ



和歌山一A 15日間データ



参考まで>太陽の黒点、太陽風と地震の発生について

本日2月10日、以下の国際ニュースがありました。

“実業家イーロン・マスク氏率いる宇宙企業・スペースXは、太陽表面の爆発現象「太陽フレア」で発生した「磁気嵐」により、衛星インターネットサービス「スターリンク」向けに新たに打ち上げた人工衛星49基のうち40基以上が機能停止に陥ったと明らかにした。米ハーバード・スミソニアン天体物理学センターのジョナサン・マクドウェル研究員によると、磁気嵐など太陽嵐による衛星の被害としては過去最大とみられる”とのこと。

人工衛星49基のうち40基以上が壊れる、という太陽表面の爆発現象「太陽フレア」で強力な「磁気嵐」が発生したようです。

ここで、太陽の磁気嵐と地震の発生の関連をしらべた研究があり、以下に載せます。

巨大地震：太陽の黒点数が少ない時期ほど頻度高く

- 太陽の黒点数が少ない時期ほど巨大地震の発生頻度が高いことが、湯元清文・九州大宙空環境研究センター長（宇宙地球電磁気学）のチームの分析で分かった。東日本大震災も黒点数が少ない時期に起きた。太陽の黒点数は約11年周期で増減を繰り返し、地球大気の状態を変化させている。チームは地球内部にも何か影響を与えていると考え、1963～2000年の太陽の黒点数と、同時期に発生したマグニチュード(M)4以上の計32万7625回の地震との関係を調べた。その結果、M4.0～4.9の地震の65%が、太陽黒点数が最小期（約2年間）の時期に起きていた。M5.0～5.9、M6.0～6.9、M7.0～7.9でもほぼ同じ割合だったが、M8.0～9.9では、28回発生した地震の79%が最小期に集中していた。また、黒点数が少ない時期には、太陽から吹き出す電気を帯びた粒子の流れ「太陽風」が強まる現象が毎月平均3～4回あるが、その現象時に、M6以上の地震の70%が発生していた。

- 毎日新聞 2011年9月26日

この研究では一般的に

>太陽の黒点数が少ない時期ほど巨大地震の発生頻度が高い

とのことですが、その中で、

>黒点数が少ない時期には、太陽から吹き出す電気を帯びた粒子の流れ「太陽風」が

>強まる現象が毎月平均3～4回ある、とあり、

>「太陽風」が強まる毎月3～4回の時に、M6以上の地震の70%が発生している

とのことです。

つまり、太陽の黒点数が少ない時期＝太陽活動が活発でないときに M8以上の巨大地震の79%が発生している、とありますが その太陽の黒点数が少ない時期の中で、「太陽風」が強まる毎月3～4回の時に、M6以上の地震の70%が発生している、ということです。

前述のスペース X の人工衛星を 40 基も壊してしまったような強い磁気嵐が地球に届く

タイミングで M6 超の大きな地震が発生する可能性が高まっていると考えられます。

天体と地球の地震の関連については 引力だけでなく磁気嵐も関連するようで、まだまだわからないことが多いです。